

## 春の叙勲で 勲五等双光旭日章



元羽幌町長  
押之見松彦さんが荣誉  
(南町 73歳)

平成15年の春の叙勲で押之見松彦さんが勲五等双光旭日章の荣誉に浴されました。

今回の叙勲は、氏の地方自治功勞に対して贈られたもので、氏は、羽幌町の事務吏員、助役として37年余り、また、町長として3期12年の永きにわたりその重責を全うし、羽幌町の振興発展に尽力されました。

特に氏は、低迷する地域経済の活性化を図るため、旧羽幌川埋立跡地の有効利用を推進し、温泉を活用した地域間交流の拠点となる「サンセットプラザはぼろ」を平成6年

10月に完成させ、地域の活性化と住民の福祉向上を主なねらいとしながら、広域観光拠点として町内はもとより近隣町村の若年者定住促進などのための環境づくりにも大きな成果を残しました。

また、水産資源の減少や組合員の高齢化により弱体化している漁業生産構造を安定させ、強固な経営基盤と安定した経営体制を構築するために、は町内3漁業協同組合の合併が不可欠と考え、長期にわたる各漁業協同組合、組合員との協議を重ね、平成8年9月、合併が成立し、「羽幌町漁業協

同組合」を発足させるなど、漁業協同組合の基盤強化と漁業者の経営安定化に大きく寄与されました。

更に氏は、高齢者人口の増加と正面から向き合い、お年寄りが住み慣れた土地で、地域との関わりを継続したまま安心して暮らすためには、住宅生活を支援する拠点が必要との考えから、平成8年1月「デイサービスセンター」を完成させ、在宅介護支援体制を確立するとともに、社会福祉の推進に大きく貢献されました。

氏は、教育の振興にも意を注ぎ、町民が心身ともに健康で充実した生活を過ごせるよう体育施設の環境整備を推進し、平成10年11月に「羽幌町総合体育館」を、また同年12月には、「羽幌町民スキー場」を完成させるなど、社会体育の推進に尽くした功績は誠に大きいものがあります。

このほかにも留萌管内や北海道内をはじめ全国規模団体の役員としてその要職を務めるなど、高邁な信念と旺盛な責任感を持って山積する重要課題を次々と解決するなど、社会生活全般にわたり多大な貢献をされました。